

2017年度日韓空間情報セミナー 開催報告 ～ i-Constructionと空間情報～

本セミナーは、2009年に韓国ソウルで開催された第1回日韓レーザ計測シンポジウムに始まります。それ以降、2014年の第5回シンポジウム開催まで日本と韓国で交互に開催し、2015年には日韓情報交流会と称して東京で開催することになり、技術対象をMMSやUAV等の計測技術まで拡張し、両国の技術動向や国家施策等の情報交換を実施致しました。今回は、さらに空間情報の役割と必要性を再認識し、広く空間情報産業の発展に拍車をかけるために、2017年度日韓空間情報セミナーと名称を変えています。

日本を含め海外の先進諸国では産官学が連携し、IoTや人工知能（AI）等革新的な技術の現場への導入、3次元データを活用した生産性向上、魅力的な建設現場の創出を目的とした建設自動化等、i-Constructionが積極的に推進されています。

このような背景の中、両国が推進するi-Constructionプロジェクトを主題にして、日韓の空間情報分野の専門家が集まり、現状と課題について議論を深めました。また、同分野における技術者のネットワークを構築し、日韓の空間情報産業の発展及び友好増進に貢献しました。

日本からは、日本測量調査技術協会として、事務局1名と会員会社から5名の計6名が参加しました。

1. セミナー名：2017年度日韓空間情報セミナー
2. テーマ名：i-Constructionと空間情報
3. 日 程：2017年8月31日 9：00 ～ 13：00
4. 場 所：韓国 ソウル市 ATセンター
5. 主 催：ソウル市立大学、韓国空間情報産業協同組合、日本測量調査技術協会
6. 後 援：韓国国土交通部、韓国技術士会
7. プログラム：
 - ・開会挨拶、歓迎挨拶（韓国）
 - ・日本のi-Constructionの現況と課題（日本）
 - ・i-Constructionにおける3次元空間情報の活用（韓国）
 - ・i-Constructionにおける空間情報の役割（韓国）
 - ・i-Constructionと空間情報分野の活用事例（日本、韓国）
 - ・閉会挨拶（日本）



SMART GEOSPATIAL EXPO 2017
会場（韓国ソウル ATセンター）



セミナー開催風景